

1991

年度(平成三年)



第34代理事長
田辺博昭

副理事長
海野秀昭
田野雅己
福田康男
吉谷信吾
赤間透

専務理事
早田秀登
事務局長
長竹正宏
出向特別委員長
荻原久雄
青少年交流委員長
半田孝尚

指導力研修委員長
鶴田勝久
まちづくり委員長
篠原住夫
ヒューマンネットワーク委員長
板橋一博

会員交流委員長
鎌木邦之
足利文化財バトロール隊長
渡辺徹

マラソン特設委員長
家富享

監事
大竹均
小堀英一
大津輝男

今、踏み出そう 勇気ある一歩を!

スローガン

○会員数 94名
○年会費 100,000円

「今、踏み出そう 勇気ある一歩を！」のスローガンのもと会員一人一人が青年会議所の会員としての自覚を踏まえると同時に、地域の中で個人として、一人の経済人として、市民として、常に我々のまちについて問題意識を持ち、それに対し責任ある発言や行動を行うことが我々の提唱するまちづくり運動の第一歩であると確信して、1年間の活動に取り組んだ。その活動の1つの柱として、明るい豊かなまちづくりに向けて、我々が地域のコーディネーターとしての役割を担うべく、積極的な市民ネットワーク作りの推進を掲げた。

特に、「ナルシソ・イエペスIN足利」においては、このネットワークを通じ、復元された足利学校の方丈での開講式に始まり、アジア地域で初のイエペス氏の講習会を開催することができた。また、各団体の主催した事業への協力により素晴らしいネットワークを作り上げることができ、その後の足利JCの活動にとっても心強い支えとなった。



足利JCの主な出来事

- ◆市民ネットワーク作りの推進
- ◆「ナルシソ・イエペスin足利」開講式および講習会の開催
- ◆第40回全国大会 東京ドーム例会として参加
- ◆深澤幸弘君、栃木ブロック第20代会長となる
- ◆田中清美君、日本JC第1政策委員長となる

- ◆さわやか健康マラソン大会・尊氏公マラソン



足利市の主な出来事

- ◆市民の投票で、足利百景を選定、1位は足利花火大会
- ◆尊氏公像と孔子像の除幕式を開催
- ◆足利渡良瀬ゴルフ場が完成
- ◆小俣上野田土地区画整理事業が完成



足利渡良瀬ゴルフ場が完成

この年の代表的なニュース

- ◆雲仙・普賢岳で火碎流
- ◆ゴルバチョフ大統領、来日
- ◆ソ連崩壊
- ◆若貴ブーム、千代の富士引退
- ◆4大証券が巨額の損失補填
- ◆宮沢内閣が発足
- ◆信楽鉄道で正面衝突

☆流行語

- 「ウイークエンドファミリー」、
「僕は死にましまーん」、
「ニューロ・ファジー」

☆流行歌

- ・SAY YES(CHAGE&ASKA)
・愛は勝つ(KAN)
・どんなときも(槇原敬之)
・はじまりはいつも雨(ASKA)
・北の大地(北島三郎)